

《第2部》 中期経営計画の進捗

平成 21 年 12 月期決算説明会

1. 実施日: 2月17日(水)15:00~16:30
2. 会場: 東証ホール
3. 内容: 《第2部》 中期経営計画の進捗
4. 説明者: 代表取締役社長 今井 明夫



~~~~~

お願い:決算説明会資料『平成 21 年 12 月期 決算説明会』と合わせてご覧下さい。

#### [中期経営計画／基本目標]

次に、中期経営計画の進捗状況につきご説明いたします。

今後見込まれる経営環境変化と外食産業の構造的課題を踏まえ、『永続的な成長を確保し得る新たな事業モデルの構築』をその基本目標とする3か年の中期経営計画は、昨年1年目が終了いたしました。

#### [平成 21 年回顧と重点課題]

この新たな事業モデルを構築するという目標に向けて、当社グループでは①お客様に選ばれる“食” & “ホスピタリティ”の提供、②グループ総合力の発揮、③そしてグループ資源の最適配分という3つの視点で各種施策を推進しております。

平成 21 年を回顧いたしますと、依然来客数の回復という点では道半ばであり、お客様に選ばれる“食” & “ホスピタリティ”の提供においては一層の改善努力が必要と考えます。

その一方で、組織体制の見直しや物流・購買の一元化などの準備は計画に沿って進んでおり、グループ総合力を発揮するためのインフラ作りは順調であると認識しております。

また、不採算店舗や業態の整理も進み、グループ資源の最適配分も進んでおります。

今後は、商品開発力の向上や教育に注力することでお客様満足度の向上や現場力の一層の強化に努めること、外食インフラ機能の活用を更に推し進めてグループシナジー効果の増大につなげること、ロイヤルホストの次世代モデルへの改装を進めること、中長期的に成長性を見込める事業・業態へ経営資本を投下していくことなどを課題として取り組んでまいります。

#### [中期経営計画／5つのコアセグメント]

当社グループは、多種多様な飲食業態を展開する総合飲食企業グループですが、そのブランド力の源泉となる①ロイヤルホストと②リッチモンドホテル、今後の成長が期待できる③てんや、④その他の外食、そして⑤機内食の5つをコアセグメントとして、企業価値の向上

## 《第2部》 中期経営計画の進捗

に取り組んでおります。

そこで、各コアセグメントの現状と方向感につきご説明させていただきます。

### 〔5つのコアセグメント／ロイヤルホスト事業〕

ロイヤルホストは昨年 28 店舗閉鎖したことにより 12 月末時点で直営 279 店舗となり、売上高 384 億円は連結売上高の約三分の1の規模となっております。

ロイヤルホストのグループ事業に占めるシェアは低下しておりますが、日本で一番質の高い“食” & “ホスピタリティ”グループを実現していく上では、重要な位置を占めていることには変わりはありません。

今後も、コアメニューの強化、サービスレベルの向上、次世代モデルへの改装を軸にブラッシュアップを図り、グループブランドの原点として、お客様に付加価値を感じていただけるような店づくりを進め、時代の変化に対応していきたいと考えております。

### 〔5つのコアセグメント／ホテル事業〕

リッチモンドホテルはロイヤルホストに比べますと若い事業ではありますが、着実にそのブランド力を高めてきているものと認識しております。

昨年 12 月に J.D.パワー・アジア・パシフィックにより発表されましたが、日本ホテル宿泊客満足度調査における1泊9,000円から15,000円未満の部門で、4年連続日本一の評価を受けております。これは正にホスピタリティという観点でブランド力を高めてきている証であり、今後も出店や改装に当たって進化を続けながら、ブランド力の向上を図ってまいります。

### 〔5つのコアセグメント／てんや事業〕

てんやは、売上高 93 億円とロイヤルホストに次ぐ外食業態です。和食、個室、ファストフード業態という特性と、店舗網が関東地方中心であるという現状から、今後の成長余地が大きい事業であると考えております。

現在進めております完全子会社化によって、食材の安定調達や全国展開、間接部門のコスト削減、安全安心な食の提供体制の確立などを実現し、グループの成長につなげていく計画です。

### 〔5つのコアセグメント／その他の外食事業〕

また、当社グループの特徴の一つであります業態の豊富さを活かしていくことが、今年の重点テーマである持続的な事業基盤の構築を進める上でのカギになるものと考えます。

昨年は外食インフラ機能の整備も順調に進んだものと認識しております。今後は中長期的

## 《第2部》 中期経営計画の進捗

に成長が期待できる分野を見極めた上で経営資源を投入していくことを検討すべきものと考えております。

### 〔5つのコアセグメント／機内食事業〕

機内食事業については、外食事業を営む企業グループならではの強みも活かしながら、高品質のオペレーションを維持し、厳しい環境下でも競争力と収益性を確保しております。

今後も、グループのコアセグメントの一つとして経営資源を投下していく計画です。

### 〔中期経営計画／業績動向〕

今後の事業展開につきましては、中期経営計画で描いた方向性に沿って進めていきたいと考えております。

ただし、ご覧のとおり、売上高水準が計画値から下方に乖離している現状から、収益力を如何に維持させるかという短期的な課題と、外食事業を中心に売上創造を図っていくという中長期的な課題が、当社グループの直面している最優先課題であると認識しております。

【以上】